

社会資本総合整備計画

平成 26年 3月 28日

計画の名称	1 人が集い、安全・安心に利用できる都市公園づくり (防災・安全)		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	山口県宇部市
計画の目標			

宇部市地域防災計画に一次避難場所として位置付けのある都市公園において、防災性の向上を図るため、災害時に、より迅速な避難及び諸活動等を行うための整備を行う。また、市民ニーズを踏まえ、自然の創出等の環境学習の場や、レクリエーション、コミュニティ活動の場として利用出来るよう施設整備や施設のリニューアルを行うことにより、公園利用の促進を図る。その他の公園では、計画的に施設整備・施設改善を行うことやユニバーサルデザインに配慮した施設整備を行うことで、利用者が安全で安心して利用出来る公園を目指す。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇部市地域防災計画に一次避難場所として位置付けられている常盤公園において、災害時に、より迅速な避難及び諸活動を行う周遊園路5.7kmを平成25年度までに整備する。</li> <li>常盤公園の入場者数を41万人/年 (H22) から46万人/年 (H26) に増加。</li> <li>便所や遊具の更新を平成23年度から平成26年度までに48基行う。</li> </ul>		
-----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
常盤公園の周遊園路の整備延長を測定する。	4.8km	5.2km	5.7km							
常盤公園の入場者数を測定する。<入場者数=駐車台数×係数 (2.11) >	41万人/年	42万人/年	46万人/年							
便所、遊具の施設更新数を測定する。	0基	25基	(H26末) 48基							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,396百万円	A	1,126百万円	B	0百万円	C	270百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.3%

交付対象事業

A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	公園	一般	宇部市	直接	宇部市	都市公園事業 (常盤公園)	公園面積189.4ha、園路整備、修景施設、発電施設整備ほか	宇部市							996	
1-A-2	公園	一般	宇部市	直接	宇部市	宇部市都市公園施設長寿命化計画策定事業	常盤公園他85公園	宇部市							10	
1-A-3	公園	一般	宇部市	直接	宇部市	宇部市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	沼街区公園他35公園	宇部市							90	
1-A-4	公園	一般	宇部市	直接	宇部市	宇部市公園施設長寿命化対策支援事業	琴崎街区公園他8公園におけるブランコの改築等	宇部市							30	
合計													1,126			

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-C-1	公園	一般	宇部市	直接	宇部市	常盤公園動物舎整備事業	動物展示施設実施設計、整備ほか	宇部市							160	
1-C-2	公園	一般	宇部市	直接	宇部市	常盤公園防災・環境整備事業	電気自動車の導入、詰所整備ほか	宇部市							110	
合計													270			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	基幹事業 (1-A-1) にあわせ、老朽化した動物舎等の改築を実施することにより、動物園としての機能充実を図るとともに、災害時において、より迅速に避難することができる動線を確認し、公園における防災性の向上を図る。	
1-C-2	基幹事業 (1-A-1) にあわせ、災害時には、諸活動の迅速化を図ることのできる環境にもやさしい電気自動車の導入や屋内スペースとして救援や活動中継点として利用できる詰所などの整備を行い、防災性の向上を図る。	

(参考図面)

